



医療法人平和会
ひさまつクリニック

～うえんそんつうしん～
Wenson 通信



VOL.9

■ 11 月院内勉強会のご報告

11 月 11 日に当院研修室にて、公益社団法人 鹿児島共済会南風病院 認知症ケア認定看護師の榎本さつき先生をお迎えして、『認知症の人とのコミュニケーション』というテーマで講義をしていただきました。高齢化の進展とともに、認知症の人数も増加しており、当院かかりつけの患者様の主病名ランキングでも認知症は第 2 位に入っています。



今回の講義では、認知症の行動・心理症状 (BPSD) 発症の原因や対応方法、認知症の人とのコミュニケーションの基盤となる「パーソンセンタードケア」についてわかりやすくご説明いただきました。「パーソンセンタードケア」とは、「その人らしさ中心のケア=人間の尊厳を支えるケア」のことです。その人のこれまでの人生・人格・価値観を理解し、ひとりの人間として尊重することが最優先となります。その人に合った「接し方」や「ケアの方法」を探し、その人らしく過ごせるようにサポートすることが大切です。認知症の人とのコミュニケーションにおいては、高齢者の表情の識別力は高く、また、笑顔に対する認識力は高いとのことでした。ケアでは笑顔を活用するこ

とが大切です。また、怒りの表情も残りやすく、負の感情を引き起こし BPSD につながりやすいので注意が必要です。質疑応答では、幻覚症状や入浴拒否など、実際に現場で対応に苦慮した場面での関わり方について、具体的な質問が多数挙げられました。日々の業務に生かせるヒントが得られたのではないかと思います。

ユマニチュードをご存知ですか？

「見る」「話しかける」「触れる」「そばに立つ」ということをケアの基本として行っていくフランスで考案された認知症ケアの方法です。認知症の人の人格を大切にケアすることで、本人も介護者も負担が軽くなると言われています。



ひさまつクリニックではこの方法を取り入れていきたいと考え、朝の勉強会のテーマに挙げて理解を深めていく予定です。

■ 福祉用具のご紹介～パート 3～

今回は、多脚型杖 (多点型杖) についてのご紹介です。一本よりも一層の安定を求めてつくられたものが多脚杖です。握り手は一つですが、脚が 4 本 (1 部に 3 本) に別れています。支える面積が広く、安定度は

高くなっています。体重をかけても倒れにくいので、立つ姿勢の悪い方の歩行訓練に適しています。比較的軽いので、腕の力が弱くても使えます。歩行が不安定で一本杖よりも大きな支持が必要な場合に用います。
※床面が凸凹している場合 (敷居やカーペットなど) は、バランスを崩しやすく不安定になります。在宅での使用では安全に考慮しなければいけません。



■ 年末年始の営業について

12 月 30 日 (火) ~ 1 月 4 日 (日) は、定期診療・訪問リハビリはお休みとさせていただきます。

いただきます。急な体調不良など、緊急の際は電話でご連絡ください。随時対応致します。

～今月の 1 枚～

12 月といえばクリスマス! 鹿児島市内にもイルミネーションスポットがいくつかあります。当院から徒歩 10 分のアミュプラザ鹿児島もすっかりクリスマスモード。今年には巨大ツリーに加えて、九州初となるオーロラ風のイルミネーションも話題となっています。(撮影: 医療相談員 岩元香菜子)



～新入職員紹介～ 看護師 園田 邦子

資格: 看護師、介護支援専門員 (ケアマネジャー)
出身地: 薩摩郡さつま町 (旧: 宮之城町)
趣味: 最近、車を新しく買いました。今季は、垂水の千本イチョウを見に行く計画です。これからの休日は、癒しスポットへのドライブが楽しみです!



8 月に開設された『平和会訪問看護ステーション』に入職しました。在宅看護に携わって 15 年余りになります。まだまだ学ぶことが多く、日々精進です。新しい環境で若い仲間との仕事はとても楽しく、よい刺激を受けています。訪問看護を通して、多くの方々の在宅支援ができる事が幸いです。どうぞよろしくお祈りします。